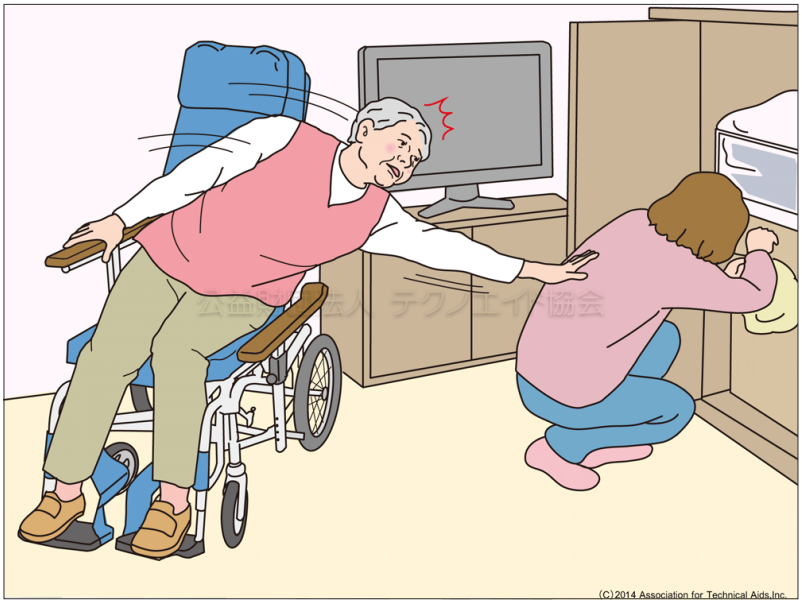
福祉用具ヒヤリハット情報

Case：300

車いすのアームサポートを下ろしたまま介助者が目を離したら、本人が落ちそうになる

場面の説明

車いすに移乗する際に下ろしたアームサポートを上げ忘れたまま、介助者が上着を取ろうと目を離していた。本人は介助者に声をかけようと身を乗り出した



利用シーン	移動
主な利用場所	リビング・居間 ダイニング・食堂
介護保険の種目	車いす
分類コード(CCTA95)	122190(姿勢変換機能付き車いす)
介護テクノロジー	―
二次元バーコード	

解説

アームサポートを下げたり、跳ね上げができる車いすは、移乗の場面ではとても便利ではありますが、その際の転倒・転落には細心の注意が必要です。機能が多い用具は同時に安全な利用に意識を払うポイントが多いことも事実です。介護者は移乗が終わったらすぐに元に戻し、次の作業に移る習慣を身につけるよう心がけましょう。

参考要因

人：本人の座位バランスが悪かった
人：介護者が「少しの間であれば大丈夫」と油断していた
モノ：アームサポートの操作が簡単ではなかった

Copyright 2000-2012 Association for Technical Aids, Inc. All rights reserved.